

## パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的即時停戦等の実現に関する決議

パレスチナ自治区ガザ地区において、イスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘により、多くの無辜の民間人が犠牲となっている。

民間人を救うためには、人道目的即時停戦等を実現しなければならない。

国連では、昨年12月12日に緊急特別総会を開き、戦闘の人道目的即時停戦と人質全員の即時かつ無条件解放を求める決議案を採択し、日本政府も賛成票を投じている。

海津市議会は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念に基づき「非核平和都市」を宣言した本市の議会として、ハマスとイスラエルをはじめとする全ての当事者に対し、一刻も早い事態の解決に向けて、次の3項の実現を強く求めるものである。

- 1 戦闘の人道目的即時停戦と人質全員の即時かつ無条件解放
- 2 国際人道法を含む国際法の順守
- 3 停戦に至る間の、民間人被害の最小化と人道支援物資供給の円滑化

以上、決議する。

令和6年3月4日

海津市議会